

会長退任・名誉会長就任のご挨拶

名誉会長 永山 原



この度、「MBクラブ会長」職を大過なく過ごし、退任することが出来ました。これは偏に役員各々の支え、会員の皆様のご協力があったことと厚くお礼申し上げます。更に新会長山口昭夫氏の推薦により、栄誉ある「名誉会長」職を拝命しました。誠に身に余る光栄であります。伝統と格調高いMBクラブを認識し、精一杯「名誉会長」職を務めさせていただきます。

MBクラブは、昭和58年4月、三愛不動産(常務・森川正夫=百万本の枝葉の情報網)の協力会社を中心に設立され、初代会長 梅ヶ谷文裕、2代目会長 高橋正紀に続き、平成4年第3代目会長として私(本州コーポレーション)が会長職に就任、副会長として白坂博(日興不動産・常務)、神戸敏雄(かんべ土地建物・取締役新橋支店長)が就任しました。

これを期に「会費制」、「月例セミナー」、「不動産情報交換会」、「有名施設の視察研究会」をクラブ運営の柱とし、初回セミナーは副会長 神戸敏雄氏の「新橋飲食店街の盛衰」がテーマであったことを印象深く、記憶に残っております。

以後順調に推移するもリーマンショック時期、月例会場の確保が困難となり、クラブの継続運営が危うい状況におちいったこともありましたが、山口昭夫氏(フィルツ都市建築設計・社長)の尽力により、毎日コムネット(専務取締役 原利典氏)の会議室の提供を頂くことになりました。

これは、月例会の定例化、講師の積極的招聘に結び付き、会員数も40社から60社と飛躍し、目下100社を目指す状況にまで発展してきました。

最近出版された佐藤智恵氏著「ハーバードで一番人気の国・日本」では、企業として「ホンダ」「トヨタ」「テッセイ(鉄道整備)」が取り上げられ、「経営のあり方・経営者の思想」が人気高く分析・研究されていました。

此处で取り上げられている経営者の資質は、新会長山口昭夫氏において十分に具備されております。

これからは、会員全員が新会長のもとで、MBクラブの発展に向けて邁進することを祈念し、会長退任、名誉会長就任の挨拶といたします。

会長就任のご挨拶

会長 山口 昭夫



この度、第4代会長を拝命致しました山口で御座います。まずは永年に渡り会を牽引し、成長させた第一の功労者である永山前会長に対し、心より感謝申し上げます。そして、前会長と共に会に貢献された白坂監査役にも心より御礼申し上げます。

我がMBクラブ(ミリオンブランチクラブ)は33年もの伝統を誇り、多くの会員の皆様によって歴史が創られてきました。その栄えある歴史に傷がつかないように、そして永山前会長の考え方を踏襲しながらも新たな考え方にも耳を傾け、さらに会を発展させていきたいと思っております。

さて、これから会を運営していくにあたり、次の点に力を注ぎたいと考えております。まず、今までも色々な機会でお話をさせていただきましたが、数は力という考え方の基(色々なご意見はあると思います)、会員100社を目指していきたいと思っております。

次に、セミナーについては、幅広く会員の皆様方のご意見を聞き、仕事や生活に直接役立つ、又は夢を与え、そしてタイムリーな講師をお願いしたいと思っております。

そして最も重要な事の一つが、会員同士の親睦をはかることだと思っております。親睦旅行会、親睦ゴルフ会、見学会等々色々企画をし、実行していきたいと思っております。

以上、この三点を大きな核として会の運営を行い、さらに活気のある会にしていきたいと考えております。そのためには役員だけではできません。会員の皆様方のご協力がなくては実現できません。この事を切にお願いし、簡単では御座いますが会長就任の挨拶とさせていただきます。

(平成28年4月)